

「メタバースの原則（第1.0版）」改定 に向けた事務局案の検討作業

（資料12－3より再掲）

「メタバースの原則（第1.0版）」改定に向けた事務局案の検討作業

- 「メタバースの原則(第1.0版)」のアップデートについては、今後の議論も踏まえ、2025年6月頃に御検討いただくことを想定している。
- その際、たたき台として、メタバースサービス提供者や外部有識者にヒアリングを行いながら、以下の5つの観点から更新した事務局案を御提示する予定。

観点	各観点の具体例
① 「第1.0版」策定時からの状況変化を踏まえた更新	・ メタバース内で用いられる技術の進展(観点②、④以外。例えば通信、広告等) ・ 普及状況の進展(若年層の増加等) ・ 市場動向の進展(コンテンツ流通、海外展開等も含む) ・ ユースケースの進展(観点③に類似)
② VRメタバースからAR・MRメタバースへの議論対象拡大	・ 物理世界(街など)との相互作用や融合 ・ 物理空間上での安全性の確保 など
③ コミュニケーション・エンタメ目的から多目的への議論対象拡大	・ 産業目的 ・ 教育目的 ・ 医療目的 ・ 行政サービス目的 など
④ デバイスの進展	・ HMD、スマートグラス ・ スマートコンタクトレンズ ・ 空間再現ディスプレイ など
⑤ 国内外でのソフトローとの比較	・ 韓国 倫理原則 ・ EU Web4.0と仮想世界のガバナンス原則 など